※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１６

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　精選古典探究」　（第一学習社） ※三年次では古文・漢文共に第二章を中心に扱います。						
副教材等	カラー版新国語便覧（第一学習社）　　体系古典文法　九訂版（数研出版） 体系古典文法準拠ノート　四訂版（数研出版） 読み解く古文３（浜島書店） 大学入試　国語頻出問題 1200　五訂版（いいずな書店） みるみる覚える古文単語３００＋敬語３０　三訂版（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この講座は２年次に履修した「古典探究」と同じく古文・漢文のみを教材として扱います。２年次で既習した知識を使い、助詞・助動詞の識別や単語力を活用し文章を読み解く力を養いましょう。授業で習ったことの復習を忘れないようにしましょう。
古文・漢文を主体的に読み深めることを通して、日本の伝統的な言語文化への理解や関心を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、わが国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期 前半	・古人の豊かな情操にふれる。 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 ［教材］『十訓抄』『発心集』 「叡実、路頭の病者を憐れむ事」 「祭主三位輔親の侍、鶯を召しとどむる事」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考え方を広げたり深めたりしている。 c：説話文学に興味をもち、語り手のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 小テスト
	・幅広い知識と真理を求める態度を養う。 ・短文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 ［教材］ 漢詩『長恨歌』	a：漢文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 c：成句・故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 小テスト
一学期 後半	・古人の価値を尊重し創造性を培う。 ・我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気づく。 ［教材］『枕草子』 「宮に初めて参りたるころ」 「五月の御精進のほど」	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：平安時代の貴族の暮らしに興味をもち、宮中のしきたりや制度について理解しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 小テスト
	・古人の豊かな情操にふれる。 ・歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。 ［教材］『大鏡』 「三舟の才」	a：古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：歴史物語に興味をもち、歴史と物語の違いについて、自分の考えをもとうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 小テスト
二学期	・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。 ［教材］『讃岐典侍日記』 「堀河天皇との別れ」	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：日記に興味をもち、関連するほかの作品との関係をふまえて内容の理解を深めよう	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 小テスト

※令和４年度以降入学生用

前半		としている。			
	・古典に対する幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化を養う。 ・古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培う。 ［教材］『無名草子』 「清少納言」「紫式部」	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：批評文に興味をもち、関連する他の作品との関係をふまえて内容を深めようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 小テスト
二学期後半	・想像力を養い、豊かな情操を培う。 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 ［教材］『源氏物語』 「紫の上の出産」 「明石の姫君入内」	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 　我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。 c：平安時代の貴族文化をふまえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート 小テスト
三学期	・古人の豊かな情操にふれる。 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 ［教材］『三冊子』「風雅の誠」 『玉勝間』 「兼好法師が詞のあげつらひ」	a：時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点を広げたり深めたりしている。 c：古典に興味をもち、多角的な視点から言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート	ワークシート 振り返りシート 小テスト

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　）時間

・書くこと　…　（　　０　）時間

・読むこと　…　（　　１０５　）時間